



が最善の結果を生むべく、しっかり情報、状況を捉え、また市民の声を聞きながら、市民の命と健康を守っていく。ワクチン接種を推進しながら、新型コロナウイルス感染症と闘っていききたい。

鈴木将浩（自民党市議員）

飼い主のいない猫の対策について

問 市等へ寄せられた猫に関する相談や苦情件数ほどの程度か。

答 令和2年度は飼い猫への苦情を含め35件、県動物愛護センター東三河支所には市内の猫に関する件数として相談が100件程度、苦情が50件程度寄せられている。

問 遺棄防止・室内飼育を推奨する広報等は、多くの市民の目に留まり、意識を変えてもらうような工夫が大事なのは。

答 飼い主のいない猫を増やさないための対応策を分かりやすくまとめたチラシを作成し、市民や子供たちに伝えていく。

問 地域猫活動を行う上で、不妊去勢手術の費用負担がある。補助制度を設ける考えは。

答 他自治体を参考にし、補助制度の導入を見据えて、地域の負担が軽減できるように努める。

問 補助制度の財源確保のため、クラウドファンディング活用の考えは。

答 ふるさと納税型クラウドファンディングや寄付を募る方法等を検討する。

新実祥悟（市政クラブ）

巡回バスなどの公共交通拡充について

問 塩津地区の今後について、コミュニティバス導入の方法を伺う。

答 定時定路線型や、隣接する地区の運行を延伸する方法など様々あり、地域と一緒に考えていく。

市内JR駅のエレベーター設置について

問 三河塩津駅への設置の問題点を伺う。

答 1日の平均乗降者数が3000人以上の駅は原則エレベーター等の設置によるバリアフリー化を求められる。2000人以上の駅は、バリアフリー実現のための生活関連施設に位置づけられている場合に対象となる可能性がある。三河塩津駅は令和元年度2824人であり条件に合致しない。また4基必要となるが下り線ホームの幅が狭い等スペースを確保できない。

問 下り線ホームを除く3基設置されれば少くとも利用しやすくなるのでは。

答 バリアフリー化は難しいが、地元要望があればまずはJR東海にその旨を伝えたい。

鈴木貞晶（自由クラブ）

日本で一番楽しいスケートボードパーク

問 実現に向けた考えについて伺う。

答 ボートレース蒲郡では、基本計画を策定中であり、スケートボードパークに限らず、本場活性化、未利用地の有効活用として、鳴門市や大村市等の他の競走場の施設の中で、他部署の実施計画等との整合性や他部署との調整等を行い、よいものは参考にしていきたい。

新図書館建設計画について

問 現図書館の耐震化について伺う。

答 昨年度から将来ビジョンの策定に向けて検討を進めているが、安全確保のため、現図書館の耐震補強についても検討している。

問 電子書籍は新図書館建設に当たっても、計画に大きな影響を与えるものと考えられる。近隣で導入している市と導入後のランニングコストについて伺う。

答 近隣では豊川市、西尾市、安城市が導入しており、システム利用料や電子書籍購入費が必要となる。

